様式４

令和３年度　墨田区立中川小学校　経営報告書

令和４年　３月１０日

学　校　目　標	◎よく考え、進んで学習する子（今年度の重点） ○思いやりの気持ちをもち仲良くする子 ○からだをきたえ、ねばり強く努力する子
目指す学校像	子ども、保護者、地域社会にとって魅力ある学校
目指す子供像	健康で自他の人格を重んじ、創造性に富み実践力のある児童
目指す教師像	かけがえのない児童が存在していることを自覚し、児童の成長を喜び合える教職員

１　自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	・対話を通して意見を深めたり、意欲をもって探求したりしながら学ぶ楽しさ、わかる喜びが味わえる授業改善を行う。 ・GIGAスクールの着実な実施によって、学ぶ機会を確保すると共に、自ら学び、考え、正しく判断し、発信できる力を育てる指導の工夫を行う。 ・基礎・基本の定着のため、朝学習や放課後補充学習を行い、学力の向上を図っていく。特に理科においてはは十分に行っていく。 ・国語科の研究授業の成果を生かし、課題に対して自主的に取り組む意欲を高め、問題を解決していく力を養っていく。	B	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	・特別支援教育コーディネーターの教員を中心に、スクールカウンセラーなどを活用し組織的に対応する。 ・特別な支援を要する児童に対しては、学校支援員を配置し必要な支援を行っていく。 ・生活指導研修会、生活指導夕会、ミニ支援会議などなど日常的に児童の情報を共有しいじめ・不登校の早期発見・解決を行う。	B	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	・地域人材を積極的に活用したり、ゲストティーチャーによる授業を行ったりすることで、キャリア教育の充実を図り、将来にわたって学ぶことの大切さを養う ・社会科や生活科、総合的な学習を通して地域の産業や、歴史にもふれながら、郷土を愛する心、地域に貢献しようとする心を育てていくる。	B	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	・今年度までの研究を授業に生かすと共に、次年度以降も全学年の研究授業を通して校内研究に全校体制で取り組み充実を図ることで、教員の指導力・授業力を高めるようにしていく。 ・今年度区のＧＩＧＡスクール授業研究に教員を派遣した。今後、定期的な校内のＩＣＴ研修を計画し、すみだＧＩＧＡスクール構想のもと、個々の教員のスキルを上げると共に、授業内での活用をさらに推進する。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	GIGA スクールついては遅滞なく進め、いかなる場合でも学びを止めないようにしてもらいたい。学校公開が無かったので、個々の先生方の授業改善の様子が見えにくかった。先行きが見えにくい社会情勢だからこそ、きちんとした学力と共に、キャリア教育など将来に目を向ける指導にも力を入れていってもらいたい。			

様式４

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	・問題行動に対しては、教職員間で報告・連絡・相談を徹底し、情報共有することで組織的な対応を行う。 ・家庭、地域と連携し、学校全体で未然防止に努め、早期発見、早期対応を図る。とくに、ネットモラルなどの周知、徹底など協力して行っていく	B	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	・全学級において「中川のやくそく」や学習規律「中川スタンダード」の定着を図るようにする。やくそく等については、「安心・安全な学校生活」を送る事を大前提として改善を行っていく ・道徳の授業を中心に全教育活動において、道徳教育を充実し、心の教育に重点をおいた指導を行う。	A	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	・毎月の安全指導や安全点検、避難訓練、不審者対応訓練、登校班指導を実施し危機管理に対する指導の充実を図る。 ・防災のための引き渡し訓練の実施や防犯のための教員による学区域巡回、またＰＴＡと連携した長期休業中のパトロールなど保護者や地域と連携した取り組みを行う。 ・新しい生活様式の徹底をはかり児童の健康と命を守ると共に、児童一人一人の健康に関する意識を高める	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立てているか。	B	・学校生活アンケートや生活リズム確認チェックカード（今年度は日々の健康観察表）により子供や保護者の意見や要望を把握し、日常の指導に生かすようにする。 ・全教職員が、保護者・児童に対して当事者意識をもち、親身なって話を聞き、課題解決に努める。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	新しい生活様式が定着して、健康管理が重要と感じた。ただ、新しい生活習慣も長期になり、心のケアについては十分に気を付けていかなければならない。挨拶についてはマスクがあるが声も出てきている。「安心・安全」については引き続き学校・地域が協力して子供たちに声をかけるなど、地域全体での雰囲気も高めていきたい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	・学校経営方針を職員会議等で全教職員に周知・徹底し、本校の特色ある教育活動を一層充実させる。 ・人権尊重の教育などはもちろん、GIGA スクール構想など新しい教育活動についても計画的・組織的に推進する。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	A	・児童の実態把握のため、各種学力調査、意識調査（i-check）等の結果を活用し、一人一人の児童の実態を把握する。 ・学習調査後の全体の学力向上プランの見直しと共に、個人票の分析を行い、個々に応じたｓ道と、見直し改善を行うと共に教員自身が自己の指導について評価を行うようにする。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	・児童への安全指導や固定遊具をはじめとした施設の安全点検を実施し、児童が安全にかつ安心して学校生活が送れるように努める。 ・GIGA スクール構想におけるネットワーク整備、全教室ＩＣＴ機器の整備・積極的に活用することで、授業の充実を図るようにする。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	日常的に教育活動、区学力調査結果等を通して、子供たち一人一人の課題を把握してほしい。子供たちがわかりやすい授業を引き続きお願いしたい。安全の確保は最重要である。			

様式４

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	・学校便りやホームページの内容、校内掲示を充実させ、学校の取組や教育活動を発信し、積極的に保護者、地域に伝えるようにする。 ・新しい生活様式を踏まえた上で、一度に入る人数を限定したクラス、学年ごとの学校公開などを計画・実施していく。	B	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	・行事のあり方を検討しながら各学校行事終了後にアンケートを実施したり学校評価のアンケートを実施したりし、保護者や地域の意見や要望を聞き、理解や協力を得られるように計画する。特に、個人情報の保護を踏まえながら、リモートを活用した学校公開についてのあり方等も検討していく。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	展覧会や体育学習発表会など限られたものではあったが、学校の教育活動が垣間見えてよかった。特に、展覧会は作成中の様子などを動画で流すなどの工夫も見られた。、学校公開のあり方などは、個人情報保護等の観点に十分配慮を行いつつ、できるだけ多くの情報発信をすることが学校への理解と信頼につながると思う。今年度は 70 周年記念式典等ができてよかった。PTA と学校の関わり方については新しい生活様式を踏まえて協力し合える形を模索していく。			

２　令和３年度学校評価のまとめ

・新しい生活様式の中での教育活動であった。感染予防についての取り組みについてはよかった。東京オリンピックなどの観戦中止など大きな行事が中止になった事は残念であった。。
・学校が「あなたもわたしも、大切なひとり」を合言葉に学習指導・生活指導両面で頑張っていただいていることに感謝する。いじめや不登校のない学校を目指して地域・保護者・学校が今後も連携していくようにしたい。
・GIGA スクール構想もすすみ、新しい教育活動が始まっている。教員の資質が指導に大きく関わってくるようになるので、是非、今後も研鑽に励んでもらいたい。
・来年度１年生が３学級編成となる。人数が増えることによって、学校設備の充実や行事のあり方など適宜見直していって欲しい。教育活動、ＰＴＡ活動についてはこれまでの本校の取組を発信しながら、継続できるようにしていってほしい。

以上の通り報告いたします。

墨田区立　中川小　学校　校長　　中嶋　保徳　公印